

- 1 だいちくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは一きようめに書き、文しよは二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくの二ばんめにきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも二ばんめのマスから書き、あたまをそらえましよう。

( ) 月 日 曜日

雨上がりのやくしま

八幡小学校 三年 安どう 心せい

お母さんと千びろのたきに行きました。遊  
 歩道に一ど行つてみたいと思つて、今まで何  
 どか行つてゐるけれど、いつもしまつていて、  
 歩いて近くまで行けたことはありませぬ。  
 「今どこそおられたいね。」  
 と車の中で話しながらいきました。が「ざんね  
 んながら今回も遊歩道はしまつていて、行く  
 ことはできませぬでした。」

てんぼうじよからたきを見ました。たきは  
 遠くにあるのに、水のなかれる音がとてもで  
 かく聞こえてきました。水が落ちて、その  
 水しぶきが上しようしていました。雨上がり  
 なので、いつもより水のりようがすごく多く  
 なつていました。いつもより、とても大きく  
 かんいさ、きれいでした。千びろのたきの入  
 口には、かみ様がゐるので、いつも見まもつ  
 てくれてゐるんじゃないかなと思ひました。  
 もつと近くまで行きたいなと思ひました。近

- 4 、と、は、それぞれ一字にかえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたと「は」の中に入れてきようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(不許複製)



1 だいまくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは一きようめに書き、文しうは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。  
2 だんらくのはじめは、一字さけて書きはじめ、だんらくしうにきようをかえましよう。  
3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをぞろえましよう。  
( ) 月 日 曜日

くから見たらどんなはくかなんだろうとわく  
わくしました。

千ひろのたきがこんなにはく力があるから

大川のたきはく力もすごいらしい。

お母さんが言うてきたので、すぐに見に行き

たくなりました。さっそく、大川のたきへ出

発です。左がわに見える海は、きらきらとし

ていてとてもきれいでした。

大川のたきに着きました。ちゅう車場のと

ころまで、

「ゴゴお。」

という音が聞こえてきます。歩いていくと、

たきが見えてきました。遠くからでも大きく

見えます。近くまでくると、水しぶきがすこ

くて、体や顔にたぐんとくできました。た

きからの風もたくさんふりてきます。もつと

近くで見たいと思つて岩を登って近くまで行

きました。見上げたら、たきのはじまりの先

には、きれいな青空が広がっていました。そ

こから、すごいりょうの水が落ちてきていま

No. 2

4、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。  
5 おはなしたところには、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しよは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字をけて書きはじめ、だんらくの二ばんめにきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそらえましよう。

（ ）月 日 曜日

す。落ちていく水が、と中の岩に当たつて、しづきがいろんな方向にへんでいていました。はく力があつて、手でさわるといたそう花なと思ひました。上から落ちてくる水には、おしつぶされてしまひそうでした。しばらくの間、たきを見ていました。近くで見物たのぞうれしくてあつたという間に時間がすぎてしまいました。帰り道へさるの家ぞくわしかは会ふことが出来ました。夕方になつた、雨もあがつていたので、「おりてきていたようです。くり生のはまに行きました。」うあ、子がメだ、たれ、す、すなはまにたまのたれぎれの中に、ゴそゴそ動いてゐる子を見つけた。子がメにすつと会つたかつたのでうれしかったです。海に帰るまで見送りました。雨上崩りには、やくしまのすてきなものにたくさん会ふことができました。また、会いに行きたいな。

- 4 . . . は、それぞれ一字にかえて、「マスの中に書きましよう。」
- 5 おはなしたと「は、」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)

